

自動車株式会社

取締役社長 井田 義則

## 臨時株主総会招集ご通知

訴蠅 ヒリ1 E 3 リ0ル 辦)P 睺 5郁メH j ャ P A i 煤淤、 / 3

本減少（種優先株式の強制有償消却の方法による資本減  
少）の件

案の要領は、後記の「議決権の行使についての参考書類」  
(2頁)に記載のとおりであります。

本準備金減少の件

案の要領は、後記の「議決権の行使についての参考書類」  
(3頁)に記載のとおりであります。

款一部変更の件

案の要領は、後記の「議決権の行使についての参考書類」  
(3頁～4頁)に記載のとおりであります。

以上

お願い 当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出  
くださいますようお願い申し上げます。

# 議決権の行使についての参考書類

1．総株主の議決権の数 960,053個

## 2．議案および参考事項

第1号議案 資本減少（種優先株式の強制有償消却の方法による資本減少）  
の件

### 1．資本減少の理由

当社は、平成16年11月18日に発表いたしました「中期経営計画の策定および財務対策」（別冊）のとおり、第2号議案でご審議いただく資本準備金減少により、当第103期（平成17年3月期）には繰越損失の解消を見込むとともに、種優先株式の強制有償消却の方法による資本減少を行うことで、将来当該優先株式が普通株式に転換され、普通株主の皆様の特権比率が希薄化されることを防ぎ、また、将来の配当負担を軽減したいと存じ

## 第2号議案 資本準備金減少の件

前記「中期経営計画の策定および財務対策」のとおり、第1号議案でご審議いただき 種優先株式の強制有償消却の方法による資本減少に加え、商法第289条第2項の規定に基づき、当社の資本準備金を50,000,000,000円減少し、全額を資本の欠損填補に充当することで、復配に道筋をつけたいと存じます。なお、本年10月末時点の当社の資本準備金の額は77,422,663,097円でしたが、本議案の資本準備金減少の効力が発生した場合には、当社の資本準備金の額は27,422,663,097円（本年11月から当該効力発生日までの新株予約権の行使により増加する資本準備金の額は含んでおりません。）となる予定です。

## 第3号議案 定款一部変更の件

### 1. 変更の理由

第1号議案の「資本減少（種優先株式の強制有償消却の方法による資本減少）の件」が承認可決された場合、種優先株式がすべて消却されることにともない、現行定款第13条-3を削除することとし、現行定款第13条-4から第13条-6までの種優先株式、種優先株式および優先株式の優先順位に関する条文番号を順次繰り上げるものであります。また、現行定款第7条の種優先株式の記載を削除するものであります。

さらに、種優先株式がすべて消却された場合、当社が発行する株式の総数がそれに相当する株式数減少いたしますので、現行定款第5条において、「本公司が発行する株式の総数」が「34億9,400万株」と定められているところを、「34億5,650万株」とし、「3,750万株は種優先株式」、との記載を削除するものであります。

なお、下記の変更の効力発生は、いずれも第1号議案の資本減少における株式消却の効力が発生することを条件といたします。

## 2. 変更の内容

変更の内容は次のとおりであります。

(下線は変更部分であります。)

現 行 定 款	変 更 案
<p>第5条（会社が発行する株式の総数）            本会社が発行する株式の総数は、<u>34億9,400万株</u>とし、このうち33億6,900万株は普通株式、3,750万株は種優先株式、<u>3,750万株は種優先株式、2,500万株は種優先株式、2,500万株は種優先株式とする。</u>ただし、普通株式につき消却があった場合または優先株式につき消却もしくは普通株式への転換があった場合には、これに相当する株式数を減ずる。</p> <p>第7条（1単元の株式の数）            本会社の普通株式ならびに種優先株式、<u>種優先株式、種優先株式</u>および種優先株式の1単元の株式の数は、それぞれ1,000株とする。</p> <p>第13条 - 3（種優先株式）  <u>本会社の発行する種優先株式の内容は、第13条 - 2の規定を準用する。</u></p> <p>第13条 - 4            〃 （条文省略）</p> <p>第13条 - 6</p>	<p>第5条（会社が発行する株式の総数）            本会社が発行する株式の総数は、<u>34億5,650万株</u>とし、このうち33億6,900万株は普通株式、3,750万株は種優先株式、<u>2,500万株は種優先株式、2,500万株は種優先株式とする。</u>ただし、普通株式につき消却があった場合または優先株式につき消却もしくは普通株式への転換があった場合には、これに相当する株式数を減ずる。</p> <p>第7条（1単元の株式の数）            本会社の普通株式ならびに種優先株式、種優先株式および種優先株式の1単元の株式の数は、それぞれ1,000株とする。            （削除）</p> <p>第13条 - 3            〃（現行第13条 - 4～第13条 - 6のとおり）</p> <p>第13条 - 5</p>

以 上

## 単体 資本の部の推移（ご参考）

### 【留意事項】

1. 「その他」は「その他有価証券評価差額金」および「自己株式」の合計であります。

×

フ

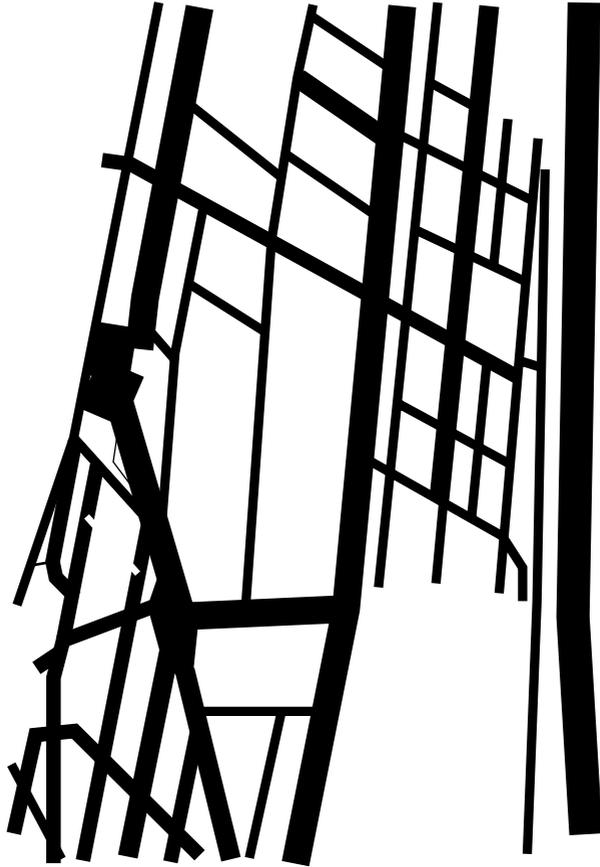
The image shows a vertical writing template. On the left side, there is a large blacked-out rectangular area. To the right of this area, there are horizontal dashed lines for writing. The template is divided into two main sections by a vertical line. The top section is taller and wider, while the bottom section is shorter and narrower. The blacked-out area covers the top-left and bottom-left corners of the template. The dashed lines are evenly spaced and extend across the width of the writing area.

メ 毛

-----

-----

# 株主総会会場ご案内図



平成16年12月1日

株主の皆様へ

と 位 置  
制 の 強  
の 具 体  
削 減

海外商用車販売30万台体制の実現、ピックアップ(ピックアップ)のプラットフォーム統一と派  
また、GM社との協業強化では、当社は  
発、生産における役割の拡大を一段と促

これら施策により、当社はこの3年間  
盤整備を行ってまいります。

この「中期経営計画」のスタートにあ

## ． 経営目標

平成20年 3 月期	
連結売上高	16,000億円
連結営業利益	1,000億円
営業利益率	6 %以上

## ． 経営ビジョン

「商用車・ディーゼルエンジンにおける、グローバル・リーディング・カンパニー」

## ． 中期経営計画の概要

【グローバル戦略商品の開発】	【製品 / 市場別事業体制強化】
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 戦略商品開発</li><li>・ コスト体質強化</li><li>・ GM社との協業関係強化</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 国内商用車事業強化</li><li>・ 海外商用車販売体制整備 / 強化</li><li>・ L C V 事業収益の最大化</li><li>・ ディーゼルエンジンビジネスの拡大</li></ul>

### - 1 . グローバル戦略商品の開発

#### 1 . 戦略商品の開発

- ・ 大型商用車では、中国、アセアン市場をメインターゲットとした「アジアトラック」投入
- ・ 中小型商用車ではグローバルマーケットに対応した中小型統合商品として「New N シリーズ / F シリーズ（仮称）」投入
- ・ L C V ではピックアップにプラットフォーム統合し、グローバル展開によるスケールメリットの実現
- ・ ディーゼルエンジンラインアップを段階的にスーパークリーンディーゼル化

#### 2 . コスト体質強化

- ・ 新製品投入を機にコスト20%削減

### 3 . G M社との協業関係強化

- ・ 当社は、G Mグループのキープレーヤーとして、G M社との更なる協業強化を目指し、商品の共同開発および生産分野における当社の役割拡大に向け検討を開始
- ・ G Mグループにおける当社商用車事業の拡大
- ・ G Mグループにおける当社ディーゼルエンジンの活用範囲拡大
- ・ グローバル市場向け次世代L C Vの共同開発

## - 2 . 製品 / 市場別事業体制強化

### 1 . 国内商用車事業強化

国内商用車 1 を目指し、戦略的新商品投入

- ・ 大型トラックギガに経済性に優れた新エンジンを投入